

## 政策対話（総務部）の概要

### 1 テーマ

学生が仕事をする上で大切にしたいこと

### 2 実施概要

#### (1) 日 時

令和5年9月1日（金）13時から14時

#### (2) 場 所（実施手法）

長野県庁（対面開催）

#### (3) 参加者

22名（長野県庁インターンシップにご参加いただいた学生）

県側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員キャリア開発課長、ほか中堅・若手職員

### 3 対話での意見（概要）

区 分	意 見	意見に対する県の考え方
仕事をする上で大切にしたいことはなにか	<p>【やりがい】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分のやりたい仕事ができることを重視したい。</li><li>・ 国家資格を取得して興味のある分野に携わりたい。</li></ul> <p>【ワークライフバランス】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 私生活の充実や休日取得のしやすさも重視したい。</li><li>・ パートナーが1人きりで育児を行うことがないよう、性別にかかわらず育児休暇を取得できる環境があるといい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県では、職員一人ひとりが自分自身のミッションやキャリアの方向性を主体的に考えながらキャリア形成を行っていくためのキャリアデザインの取組を行っており、今後も各職員が主体的にやりがいをもって働ける組織となるよう、当該取組を一層推進してまいります。</li><li>・ 民間企業や官公庁も含め、様々な仕事において各々のやりがいがある中で、長野県職員の仕事のやりがいについても多くの学生に知っていただけるよう、今後のインターンシップや採用説明会等においてPRしてまいります。</li><li>・ ワークライフバランスについては、職員が生き生きと働くことができる組織環境の整備に今後も努めてまいります。</li></ul>

県職員の仕事・働き方について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 普段大学の授業などで「公務職場は多職種間の連携が大切」と聞いていたが、実際に様々な職種の職員同士が対話している様子を目の前で見ることができ、貴重な経験だった。</li><li>・ デスクだけで仕事をしているイメージが強かったが、実際はデスク以外での業務も多く、良い意味でのギャップだった。</li><li>・ 専門職種であっても、コミュニケーション能力等の一般的に求められる能力が必要だということを学んだ。</li><li>・ 技術職を志望しているが、専門分野の知識・技術を使う業務だけでなく、企画を行うなど、仕事の幅が広いことが分かった。</li><li>・ 県は政策を計画するのみで、実行するのは外部の委託機関等に任せているのかと思っていたが、事業実施まで県職員が行っていることに驚いた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ インターンシップ参加者に対しては、別途アンケートも実施しました。来年度以降も、多くの学生に県職員の仕事や職場の雰囲気等を身近に感じていただく機会となるよう、いただいた意見やアンケートの結果を今後のインターンシップの実施にあたり参考にしてまいります。</li></ul>
----------------	--	--